

## ご意見に対する県の考え方

No	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
1	<p>障がい児・者の支援のため、各市町村への導入が進められている相談支援ファイルについて、関係者間の情報共有による効果的で継続的な支援を可能にし、災害等による相談支援ファイルの喪失を防止する観点から、相談支援ファイルの電子化と一元管理を進めるべきである。</p>	<p>頂いたご意見にあるとおり、相談支援ファイル等の活用により、教育、保健、医療、福祉、労働等の関係機関が連携し、障がい児・者に対してそれぞれのライフステージに応じた切れ目のない一貫した支援を行うことは重要であると考えています。</p> <p>そのため、市町村や関係機関に対して相談支援ファイルの作成や活用を促しています。</p> <p>今後、相談支援ファイルを活用したより効果的な支援方法を検討するに当たり、ICTを活用した情報共有の仕組みも検討する必要がありますが、共有する障がい児・者の個人情報の内容や管理方法をはじめ、活用できる関係機関の範囲や現在市町村ごとに異なっているファイル様式など、検討しなければならない多くの課題があります。</p> <p>そのため、頂いたご意見を参考に、関係部局で、関係団体の皆さまや関係機関のご意見もお聞きしながらICTを活用した仕組みづくりを継続的に検討していきます。</p>
2	<p>他県から引っ越してきた際、新しく探した病院で一から検査してもらうなど苦労があったため、これまでの診断結果などを医療機関間で共有できる仕組みがあるとよい。</p>	<p>県では、医療機関等の中で診療情報を共有する「しまね医療情報ネットワーク（愛称：まめネット）」を整備し、平成25年1月から運用を開始しました。まめネットは、同意していただいた方の診療情報を、島根県内の参加医療機関等の中で共有できる仕組みです。</p> <p>また、国においては、各県の医療情報ネットワークを全国レベルでつなげ、全国の医療機関の間で診療情報の共有が可能となるよう、「次世代型保健医療システム」の検討が進められています。</p>
3	<p>地域情報化と仏教実践について研究すべきではないか。</p>	<p>本戦略は、様々な分野において、ICTをどのように役立てていくかを示す、今後のICT利活用の指針となるものであり、特定の宗教については考えていません。</p>